

「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」個別事業の評価一覧

事業の評価										予算			担当課				
■ 施策(5) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進										予算			※太字が評価を記載した課				
【Plan】計画				【Do】実施				【Check】評価	【Action】改善		予算						
柱番号	事業番号	事業名	事業概要	前年度の評価を踏まえての改善	27年度の事業計画	27年度の主な実績	活動指標	区分	27年度	28年度	29年度	評価		評価の理由(分析)	次年度以降の課題や改善内容	予算事務事業名	決算額・次年度予算額【千円】
1	77	北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会の運営(仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進事業)	全国に先駆けて、企業・働く人・市民・行政が一体となって設立した「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進に取り組む。企業等の事業者や働く人が働き方やライフスタイルを見直し、男女が共に働きながら子育てしやすい環境づくりを推進するため、企業への取り組み支援や広報啓発事業を展開する。	・「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として、様々な企業・団体等と一層連携を深める。 ・より多くの企業等や働く人に直接働きかけていくことで「実践」を通じた成果実現につなげる。	①ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣事業の実施 ②企業等への出前セミナーの実施 ③ダイバーシティネットワーク活動 ④女性活躍推進取組支援事業	①15回 ②9社 ③5回 ④7社	研究会・企業への助言等 【現状値】 24件(H26年度) 【目標】 35件(H31年度)	単年度 27年度 27件 28年度 29件 29年度 31件 累計目標 36件 達成率 133% 計画目標 133%	大変 順調	・ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣事業等の企業の活用件数が、目標値を上回ったため、「大変順調」と判断。	【課題】 ・女性活躍推進法の成立を踏まえ、同法が規定する協議会組織を念頭に「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心とした市内推進体制をより充実する必要がある。 【改善】 ・市内企業等の意見を踏まえながら、効果的な推進体制について検討、改善する。	ワーク・ライフ・バランス推進事業	決算 13,508の一部 予算 11,314の一部		総務・女性活躍推進課		
1	78	ワーク・ライフ・バランス表彰の実施(仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進事業)	子育て支援や男女が共に働きやすい環境づくり等に取り組む企業・個人等を表彰し、お手本としてその内容を広く紹介することで、企業等事業者や市民がワーク・ライフ・バランスに取り組むよう働きかける。	・「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として、様々な企業・団体等と一層連携を深める。 ・より多くの企業等や働く人に直接働きかけていくことで「実践」を通じた成果実現につなげる。	①第9回ワーク・ライフ・バランス表彰の実施	①企業3社、個人1人の計4社(人)に表彰	表彰企業数(累計) 【現状値】 累計 50社(H26年度) 【目標】 75社(累計)(H31年度)	単年度 55社(人) 60社(人) 65社(人) 累計目標 54社(人) 達成率 98% 計画目標 72%	順調	・第9回ワーク・ライフ・バランス表彰では、企業・団体部門で市長賞1社、奨励賞2社、個人部門では市長賞1人の計4社(人)が受賞した。より受賞した企業等のインセンティブを高めるため、授賞式の方法を改善したり、ゆめみらいワークに受賞企業を紹介する等の取組みを実施したため、「順調」と判断。	【課題】 ・引き続き受賞企業のインセンティブを高め、受賞企業の拡大につなげる必要がある。 【改善】 ・受賞企業に関する情報発信の機会を充実する。	ワーク・ライフ・バランス推進事業	決算 13,508の一部 予算 11,314の一部		総務・女性活躍推進課		
1	79	企業や地域等でのワーク・ライフ・バランスの取り組み支援(仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進事業)	企業等の事業者に対して、仕事と子育て等との両立への理解促進や働きやすい職場環境づくりを働きかける。また、毎年11月をワーク・ライフ・バランス推進月間とし、その意義や必要性を企業等事業者や市民に周知する。 ○ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣事業 ○企業等への出前セミナー ○子ども参観日 ○ワーク・ライフ・バランス新聞の配布	・「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として、様々な企業・団体等と一層連携を深める。 ・より多くの企業等や働く人に直接働きかけていくことで「実践」を通じた成果実現につなげる。	①ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣事業の実施 ②企業等への出前セミナーの実施 ③ダイバーシティネットワーク活動 ④女性活躍推進取組支援事業	①15回 ②9社 ③5回 ④7社	研究会・企業への助言等 【現状値】 24件(H26年度) 【目標】 35件(H31年度)	単年度 27年度 27件 28年度 29件 29年度 31件 累計目標 36件 達成率 133% 計画目標 133%	大変 順調	・ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣事業等の企業の活用件数が、目標値を上回ったため、「大変順調」と判断。	【課題】 ・ワーク・ライフ・バランスの実現にあたっては、企業の果たす役割が大きく、女性活躍推進法の成立を踏まえ、両立環境の整備・女性従業員の人材育成双方の視点から企業をサポートしていく必要がある。 【改善】 ・企業ニーズをきめ細かに把握しながら、サポート策を充実するとともに、企業間のネットワークを構築する。	ワーク・ライフ・バランス推進事業	決算 13,508の一部 予算 11,314の一部		総務・女性活躍推進課		

事業の評価										予算			担当課							
■ 施策(5) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進										予算										
柱 番号	事業 番号	【Plan】計画				【Do】実施				【Check】評価	【Action】改善	予算			※太字が評 価を記載した 課					
		事業名	事業概要	前年度の評価を踏まえての改善	27年度の 事業計画	27年度の主な実績	活動指標	区分	27年度			28年度	29年度	評価		評価の理由 (分析)	次年度以降の課題や改善内容	予算 事務事業名	決算額・ 次年度予算額 【千円】	備考
1	80	市役所におけるワーク・ライフ・バランスの推進	職員のワーク・ライフ・バランスを推進するため、「第三期特定事業主行動計画」に基づき、各種研修や啓発活動等による職員の意識改革、仕事の見直し・改善、仕事と子育ての両立支援等について取り組む。	・第三期特定事業主行動計画「北九州市職員ダイバーシティ推進プログラム」に基づき、すべての職員のワーク・ライフ・バランス実現に向けた取組みを着実に実施する。	①2回 ②1回 ③25人 ④2部署	<p>ワーク・ライフ・バランスが取れていると感じる職員の割合</p> <p>※本指標は「北九州市職員次世代育成支援プログラム(H22～H26年度)」掲載内容【現状値】</p> <p>69.4% (H20年度)</p> <p>【目標】 85% (H30年度)</p> <p>①パパママ応援・子育て&amp;仕事両立サポート研修の実施</p> <p>②ワーク・ライフ・バランス推進月間の実施</p> <p>③テレワークのトライアル(施行導入)の実施</p> <p>④WLB実践モデル部署研修の実施</p>	<p>単年度 目標設定なし</p> <p>単年度 目標設定なし</p> <p>単年度 目標設定なし</p>	<p>単年度 88.0%</p> <p>達成率 -</p> <p>計画目標 97.8%</p>	<p>単年度 目標設定なし</p> <p>単年度 目標設定なし</p> <p>単年度 目標設定なし</p>	<p>単年度 8.8%</p> <p>達成率 -</p> <p>計画目標 44.0%</p>	順調	<p>・テレワークのトライアルや「ワーク・ライフ・バランス実践モデル部署」の実施などにより、ワーク・ライフ・バランス実現に向けた実践的な取組みの実例が得られた。</p> <p>・また、全管理職がイクボス宣言を行い、イクボス表彰では、管理職のマネジメントの優秀事例について部下職員から多くの推薦が上がった。</p> <p>・このように業務の効率化や職員の両立支援に向けた取組みが進んでおり、「順調」と判断。</p>	<p>【課題】 ・ワーク・ライフ・バランスの推進を両立環境の整備だけにとどまらず、市役所組織と職員双方のレベルアップにつなげるため、業務改善・人材育成の実践例を積み重ね、市役所内の各部署に広めていく必要がある。</p> <p>【改善】 ・テレワーク等の事業実施の効果を市役所内に効果的に周知するとともに、各部署の主体的な取組みを促進する。</p>	「女性活躍推進アクションプラン」実施及び市職員次世代育成支援事業	<p>決算 3,812 の一部</p> <p>予算 3,709 の一部</p>		ダイバーシティ推進事業	<p>決算 3,864 の一部</p> <p>予算 3,500 の一部</p>		総務・女性活躍推進課

事業の価値													予算			担当課	
■ 施策(5) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進													予算				
柱 番号	事業 番号	【Plan】計画				【Do】実施				【Check】評価		【Action】改善	予算			※太字が評 価を記載した 課	
		事業名	事業概要	前年度の評価を踏まえての改善	27年度の 事業計画	27年度の主な実績	活動指標	区分	27年度	28年度	29年度	評価	評価の理由 (分析)	次年度以降の課題や改善内容	予算 事務事業名		決算額・ 次年度予算額 【千円】
1	81	有資格者の登録における社会的責任・社会貢献の評価	地元企業のワーク・ライフ・バランス推進等の取組を積極的に評価するため、入札参加資格業者の格付における主観点の評価項目の一つとして「子育て支援・男女共同参画」を設け、要件を満たす場合に加点する。	地元企業のワーク・ライフ・バランス等の推進を契約制度の面からも支援するため、引き続き加点制度を実施する。	①市入札参加資格業者のうち、ワーク・ライフ・バランス等の推進を行っている地元企業の増加を図る。	市入札参加資格業者に対する評価対象業者数 〔現状値〕 203社 (H26年度) 〔目標〕 前年度以上 (物品等供給業者) H26年度: 66社→ H27年度: 69社 (建設工事業者) H26年度: 137社→ H27年度: 160社	区分	前年度以上 (203社)	前年度以上	前年度以上	大変 順調	・物品等供給業者及び建設工事業者ともに評価対象企業数は前年と比較して増加しており、ワーク・ライフ・バランス等の推進に一定の寄与はできていると考える。	・地元企業のワーク・ライフ・バランス等の推進を契約制度の面からも支援するため、引き続き加点制度を実施する。 ・また、「平成28・29年度物品等供給契約入札参加資格審査申請受付」及び「平成29・30年度建設工事入札参加資格審査申請受付」から、新たに子育て支援等に係る加点項目を追加する。 ・次の要件に該当する地元企業に対し、格付における主観点の評価項目として加点する。 ①「行動宣言登録(福岡県子育て応援宣言、女性活躍推進宣言)」に登録されている。 ②「女性活躍推進法」に基づく一般事業主行動計画の策定を行っている。	予算なし	決算 — 予算 —		技監・ 契約制度課
1	82	家族経営協定の推進	農家の意識改革を進めるため、家族全員の話し合いによって、休日・給料や仕事の分担などの取り決めを定める家族経営協定制の普及・啓発を図る。	・本市の農業の振興のため、経営現状と労働実態を改善することは必須である。その中でも家族間の労働条件の整備は不可欠であると考えている。そのため、今後も事業の推進が必要であると考えている。 ・農業生産者が集まる場にて、積極的に啓発活動を行いたいと考えている。	①農業生産者が集まる場にて啓発を行う。	家族経営協定締結数(延べ数) 〔現状値〕 67件 (H26年度) 〔目標〕 71件 (H29年度)	区分	68件	69件	71件	順調	家族経営協定締結数(延べ数)は67件となっていて、達成率99%なので順調とした。	・本市の農業の振興のため、経営現状と労働実態を改善することは必須である。その中でも家族間の労働条件の整備は不可欠であると考えている。そのため、今後も事業の推進が必要であると考えている。 ・農業生産者が集まる場にて、積極的に啓発活動を行いたいと考えている。	予算なし	決算 — 予算 —		産経・ 農林課
2	83	男性の家事・育児参画促進(男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業)	家族を構成する男女が共に協力しながら、家庭での責任を果たしていくため、男性が仕事だけでなく、子育て等とともに参画し、家庭等において積極的に役割を果たせるよう支援する。 ○男女共同参画センター・ムーブ等での男性向け家事・子育て関連講座	・平成27年度以降も引き続き、ムーブ及びレディスでの男性向け家事・子育て関連講座や、地域における広報啓発事業を実施し、男性の家事・子育てなどへの参画促進に向けた取り組みを進める。	①男女共同参画センター・ムーブ、勤労婦人センター・レディスにおいて、男性向け家事・子育て関連講座を開催する ②NPO等と協働で、地域における広報啓発事業を実施する。(地域における男女共同参画推進啓発事業)	ムーブ・レディスでの男性向け家事・子育て関連講座開催数 〔現状値〕 21講座 (H26年度) 〔目標〕 15講座程度 達成率	区分	15講座程度	前年度同水準	前年度同水準	順調	・ムーブ・レディスにおいて、家庭生活への男性の参加促進のため、「父と子の食育講座」や「エプロン男子」、「ケアメン養成講座」などを実施し、知識と実技を習得してもらうことが出来た。参加者数は26年度の1,007人から1,390人に増加した。 ・NPO等と協働で、ワーク・ライフ・バランスなどをテーマに広報啓発事業を計画どおり実施した。	・引き続き、ムーブ・レディスでの男性向け家事・子育て関連講座や、地域における広報啓発事業を実施し、男性の家事・子育てなどへの参画促進に向けた取組を進める。 ・参加者アンケートやトレンドなどを踏まえ、事業・講座の内容などの見直しの検討を随時行う。	男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業(指定管理)	決算 333,781 の一部 予算 336,918 の一部		総務・ 男女共同参画推進課

